Change and Grow for The Future

私たちは2023年4月、SWCC株式会社として新たに出発し、
まだ見ぬ頂への道しるべとしてパーパスを制定しました。
より良い未来に向かって、基幹事業3セグメントを一層強化・深化し、
そして自らを果敢にトランスフォーメーションすることで、
新たな価値の創造、持続的な成長を実現していきます。

SWCCパーパス

時代は、変化でできている。

私たちが、変化をしないわけにはいかない。

インフラだけじゃない。電線だけでもない。

つないでいるのは、昨日や、今日や、明日のこと。

この先も、人が和やかに生きるために。

いつかの、愛すべきあたりまえのために。

人を想う品質と信頼で、応えていく。

だから、情熱と輝きをたやさない。挑戦をやめない。

いま、あたらしいことを。

いつか、あたりまえになることへ。

トランスフォーメーション

経営戦略

SWCCパーパスのもと、成長戦略を加速。成長投資により新領域へ展開し、ソリューション提案型企業への転換を図ります。

→ 詳しくは 23～26ページ

財務戦略・資本政策

ROIC経営の深化により、資本収益性を向上。収益の積み上げにより財務基盤を強化します。

→ 詳しくは 27～28ページ

人的資本戦略

経営戦略と連動した人的資本戦略を推進。時代の変化に対応できる多様で優秀な人材の集団を目指します。

→ 詳しくは 29～30ページ

技術開発戦略

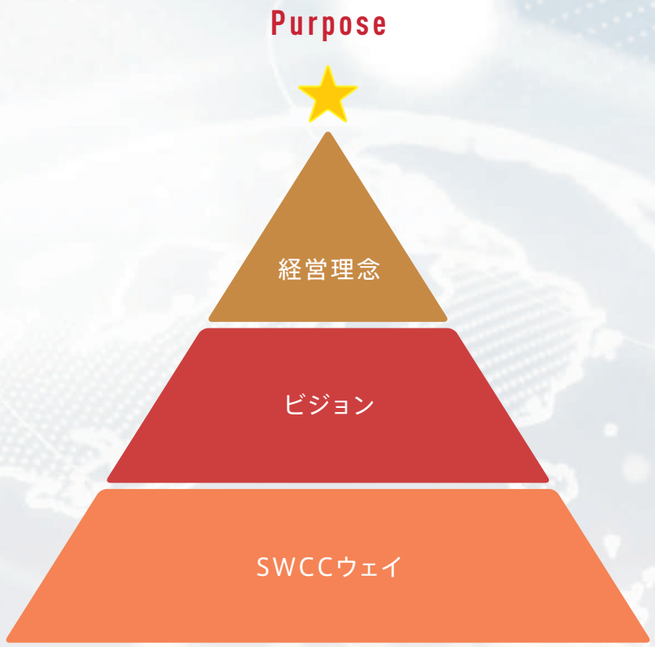
次世代のビジネス領域を切り拓く。既存事業と新領域を掛け合わせ、SWCCグループの新たな優位性を創出します。

→ 詳しくは 31～32ページ

Management Philosophy

SWCCグループは、信頼の輪をひろげます

SWCCグループの理念体系



経営理念 ····· SWCCグループは、信頼の輪をひろげます

ビジョン ····· SWCCはソリューション提案型メーカーへ!

SWCCウェイ(行動基準)

「迅速」・「情熱」・「考動」で価値創造を実現する

【迅速】

- 大切な経営資源である「時間」を常に意識し、スピード重視で行動します
- 報告・連絡・相談は速やかに行います
- 問題発生時には、速やかに解決にあたり、真因の分析と再発防止に努めます

【情熱】

- 失敗を恐れず、絶えず変革にチャレンジします
- 時代に合わない慣習は自ら断ち切る勇気を持って行動します
- お客さまからの信頼を大切に、誠実で心のこもった対応をいたします

【考動】

- 前例にとらわれず、また指示を待つことなく、自ら考え、積極的に行動します
- コンプライアンスを常に意識し、お客さまや家族に胸を張って話せる仕事や行動に徹します
- 思いやりの気持ちを忘れずに、一人ひとりが働きがいのある執務環境をつくります

編集方針

本統合報告書では、中期経営計画に基づく改革を進め、2030年に向けて行動を起こし、新たな力を蓄えるSWCCグループの取り組みを紹介します。また、SWCCグループをより深くご理解いただけるよう、トップメッセージ、経営資本、中期経営計画、マテリアリティの進捗、主要事業セグメントの事業内容、およびサステナビリティ開示情報の充実を図りました。

■統合報告書の対象期間
2023年4月1日～2024年3月31日(2023年度)
※ただし、一部には過去および直近の活動が含まれます。

■統合報告書の対象範囲
SWCC株式会社、連結子会社(国内8社、海外7社)および持分法適用会社(海外4社)

■参考にしたガイドライン
- IIRC(国際統合報告評議会)「国際統合報告フレームワーク」
- GRI(Global Reporting Initiative)「サステナビリティ・レポーティング・スタンダード」
- (一財)日本規格協会「JIS Z 26000:2012社会的責任に関する手引」

■発行年月
2024年8月(次回発行予定:2025年8月)

■その他
会社案内、有価証券報告書などの企業情報は、ホームページでご覧いただけます。

「SWCCグループレポート統合報告書2024」発刊にあたり

統合報告書2024をご高覧いただき、誠にありがとうございます。2023年度は、新生SWCC株式会社としての初年度であり、これまでと同様に持続可能な成長と価値創造に向けて日々邁進してまいりました。2024年度は、中期経営計画「Change & Growth SWCC 2026」の折り返しとなり、今回の報告書では、計画前半における成果と、計画後半に向けたローリング内容について詳しくご紹介しております。
これからも私たちは、お客さま、株主さま、ビジネスパートナーの皆さま、そして社会全体と共に、より良い未来を創るために努力してまいります。この報告書がSWCCグループへのご理解を深めていただく一助となれば幸いです。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年8月

SWCC株式会社 フェロー
サステナビリティ推進部長
志賀 紀幸

見通しに関する注意事項

この統合報告書に記載されている当社の現在の計画・戦略および将来に向けた業績見通しは、現在入手可能な情報に基づき、当社が現時点で合理的であると判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績はさまざまな要素によりこの統合報告書の内容とは異なる可能性のあることをご承知おきください。

contents 目次

イントロダクション
Change and Grow for The Future ····· 1
SWCCグループの理念体系 ····· 3
編集方針・目次 ····· 4
価値創造とイノベーションの歴史 ····· 5
事業活動と価値創造の源泉 ····· 7

トップメッセージ
トップメッセージ ····· 9

SWCCグループの価値創造ストーリー
価値創造ストーリー ····· 15
価値創造プロセス ····· 17
経営資本の充実に向けて ····· 19
SWCCグループのビジネスモデル ····· 21
経営戦略／財務戦略・資本政策／人的資本戦略／技術開発戦略
- 経営戦略 ····· 23
- 財務戦略・資本政策 ····· 27
- 人的資本戦略 ····· 29
- 技術開発戦略 ····· 31

事業セグメント別戦略と進捗
- エネルギー・インフラ事業 ····· 33
- 電装・コンポーネンツ事業 ····· 37
- 通信・産業用デバイス事業 ····· 41

DX推進の取り組み ····· 45

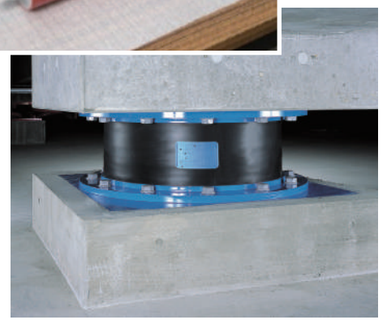
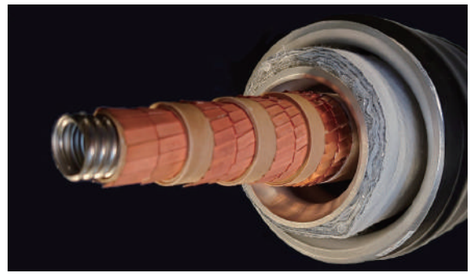
サステナビリティ経営
サステナビリティの推進 ····· 46
マテリアリティ ····· 48
Our future みらいを創る ····· 51
Our earth 地球にやさしい ····· 53
Our partnership ともに生きる ····· 57
Our people ひとが輝く ····· 61
Our governance より良き企業に ····· 65
社外取締役座談会 ····· 75
マネジメントチーム(役員紹介) ····· 79

財務・経営情報
財務・非財務ハイライト ····· 81
過去11年間の主要財務データ ····· 83
連結財務諸表 ····· 85
株式・投資家情報／会社情報 ····· 87

Trajectory of Value Creation

価値創造とイノベーションの歴史

当社は、1936年、東京電気株式会社（現 株式会社東芝）の電線部門から分離して設立されました。設立当時の社名「昭和電線電纜株式会社」は、元号・昭和の理念「万民の幸福と世界平和」に共感したこと、そして社名に電纜（ケーブルの意）を用いたのは、あらゆる種類の電線・ケーブルを製造・販売する大手企業へ成長するとの決意を込めてつけられました。創業以来、創造と挑戦を続け、社会に新たな価値をもたらす製品を生み出し、発展してきました。時代の荒波を乗り越えてきた先人たちの思いをしっかり受け継ぎながら、これからも時代の変化に対応し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

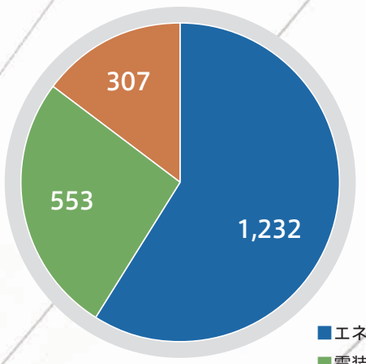
	1936～	1970s～	2000s～	2023～
年代	躍動期 1936年～	躍動期 1970年代～	充実期 2000年代～	SWCCグループ始動（2023年～）
時代背景	**戦後の復興、高度経済成長** **（電力ケーブル、通信ケーブルの市場展開）**	**バブル景気、国際化、環境問題** **（既存技術を生かした非電線分野への展開）**	**情報ネットワークの普及、社会情勢の変化** **（当社独自のブランド戦略）**	**持続可能な社会、地球温暖化・脱炭素社会への移行** **（持続可能性、ソリューション提案型への移行）**
SWCCグループが提供した価値	●操業開始後の1937年に裸銅線、1938年に電力ケーブル、通信ケーブルの製造・販売を開始。以後、戦後復興・高度経済成長の需要に応え、電力・通信インフラ網の整備を支えました。 ●無酸素銅の品質追求や製造設備の省スペース化から、GE社のディップ・フォーミング・システムを日本で初めて導入、1969年に荒引線の製造を開始しました。導入当時は、無酸素銅そのものの認知度が低かったものの、さまざまな改良を施し、高品質な無酸素銅の供給体制を構築しました。 黒部川送電工事 （1956年撮影） ディップ・フォーミング・システム	●電線のゴム材料技術を生かして、1979年に電子複写機用ヒートローラの製造・販売を開始。情報化時代を迎え、高まる複写機のニーズに応えました。 ●電線から派生した防振ゴム製造で培ったゴムそのものの技術を生かし、1985年に積層ゴムアイソレータの事業に参入。積層ゴムアイソレータを設置した建物は、これまで複数の巨大地震のたびに免震効果を発揮し、地震の揺れから人命と財産を守りました。また、地震による社会インフラの損傷を最小限に抑え、迅速な復旧にも貢献しています。 ヒートローラ  免震アイソレータ	●2006年に持株会社体制へ移行し、「昭和電線ホールディングス株式会社」に商号変更。 ●電力ケーブル同士、または電力機器と電力ケーブルを接続する電力接続部品であるコンパクト型電力機器用製品群を「SICONEX®（サイコネックス）」ブランドとして統一しました。SICONEX®はインフラ強靭化ニーズに応えています。 ●2017年、高機能無酸素銅線を「MiDIP®（ミディップ）」ブランドとして販売開始。加工性に優れ、高品質な無酸素銅を求める車載分野のニーズに応えています。 SICONEX® MiDIP® e-Ribbon®	●2023年、純粋持株会社から事業会社とする経営体制の再編、ならびに「SWCC株式会社」に商号変更。コーポレート機能の集約と管理機能の合理化、セグメント別事業体制の確立により強化されたグループ基盤のもと、戦略立案と実行のスピードをさらに加速させていきます。 ●新たに策定したパーパス「いま、あたらしいことを。いつか、あたりまえになることへ。」のもと、SWCCグループは総合電線メーカーからソリューション提案型メーカーへの進化を目指します。さまざまなソリューションを提供することで、持続可能な社会を支える企業となるよう取り組んでいきます。  三相同軸型超電導ケーブル 再エネ導入（愛知工場の太陽光パネル）
社会へのインパクト	●社会生活に欠かせない電力網、情報通信網など**社会インフラ整備**に貢献 ●加工性に優れ、高品質な無酸素銅の提供により、**高機能線材などの新たなニーズ**に対応	●複写機の普及に伴い、オフィス、ビジネスシーンにおける**情報共有、業務効率の向上**などに貢献 ●積層ゴムアイソレータによる耐震性向上は、都市・インフラの**安全と災害に対する強靭化**を提供	●**SICONEX®**は電力網強靭化、再エネ需要をもとに拡大する**電力市場需要に対応** ●地球環境問題への関心度の高まりを受け、**xEV化の加速**、および自動車以外の**モビリティ電動化**促進に活用 ●光ファイバの細径高密度化・配線布設工事の作業性向上を可能にする**間欠接着リボン「e-Ribbon®（イーリボン）」**は通信インフラの発展に貢献	**ソリューション提案型ビジネス**で社会課題を解決 持続可能な社会を支える企業を目指します

Business and Presence

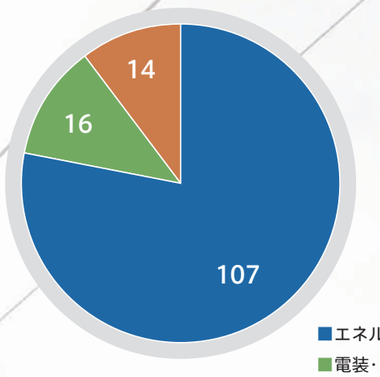
事業活動と価値創造の源泉

SWCCグループは、電線・ケーブルというフィールドで長年にわたり培った技術と叡智のもと、
「エネルギー・インフラ事業」「電装・コンポーネンツ事業」「通信・産業用デバイス事業」を展開しています。
時代の変化に対応し、未来に向けて挑戦を続け、新たな価値を創造していきます。

■2023年度事業別売上高比率(億円)



■2023年度事業別営業利益比率(億円)



エネルギー・インフラ事業

SICONEX®

社会基盤をつくるSWCCグループの中核事業

SWCCグループの中核事業であり、創業以来、電線・ケーブルを中心に発電所から家庭までをつなぐ多彩な製品や、地震や火災などの災害から人命やインフラを守る製品を世の中に送り出し、社会インフラを支えています。
電力ケーブル、電力機器製品、免震製品などを時代のニーズに適合させ、新しい時代を支える高品質な製品やソリューションを追求しており、小型化・軽量化に省力化と安全性を実現する当社独自の高電圧電力ケーブル用コネクタ「SICONEX® (サイコネックス)」は、工期短縮、作業効率化を実現し、耐震性にも優れます。このSICONEX®を中核に、ケーブル・機器部品・工事・保守などの接続工事システムを提供するとともに、接続工事の効率化・省力化やサステナブルな人材育成へのプログラムを付加したSICOPLUS®(サイコプラス)戦略を推進し、電力市場でのソリューションビジネスを展開しています。

電装・コンポーネンツ事業

MiDIP®

独自技術の優位性を生かし、世の中の進化を加速する

高品質な性能を有する素材技術を核に、成長市場での圧倒的な地位の確立に挑んでいます。三重事業所にある日本唯一のディップ・フォーミング・システムは、電気銅の投入から圧延までの全工程を雰囲気ガスおよび真空中で行うことにより空気と完全に遮断し、その後、クルーシブル(るつぼ)での鋳造から圧延、巻き取りまでの工程を徹底した酸化防止策のもとで行う製造方法です。これにより生み出される高機能無酸素銅線「MiDIP® (ミディップ)」は、純度が高く、加工性にも優れることから、車載分野において、EV用モータの小型化に伴いニーズが高まっています。また、高強度、高導電率、耐屈曲性に優れた「銅銀合金線」も、さまざまな分野で期待されています。
国内マーケットのみならず海外に視野を広げ、グループ会社間で連携してクオリティ・コスト・スピードを三位一体で革新し、製品競争力を一層強化することにより、お客さまの期待と要望に応えていきます。

通信・産業用デバイス事業

e-Ribbon®

高速・大容量通信時代を、多彩なソリューションでリード

情報通信に不可欠な通信ケーブルをはじめ、家電・電子機器内のワイヤハーネス、複写機用部品、FA用ケーブルなど多種多様な分野のデバイス製品を提供しています。
国内外のグループ企業やパートナー企業と連携し、最新の生産技術を多様な製品開発に応用しています。光学設計技術を応用して開発した間欠接着リボン「e-Ribbon®」は、変形しやすい柔軟な特性を維持しつつ、大量の光ファイバを精密に連結することを可能にしました。主に、超細径高密度光ファイバケーブルに使用され、配線敷設工事の作業性の向上に貢献しています。
人と人、人とモノ、モノとモノがあらゆる場所でつながる時代において、豊富な技術と経験を発揮し、多彩なデバイスソリューションのさらなる高品質化・高付加価値化を推進することにより、つながる社会の進化を支えていきます。

新たな事業・ソリューションビジネスへの取り組み

三相同軸超電導ケーブルシステム

社会にイノベーションを起こす成長市場を開拓

自動車、FA、医療、AI、ロボットなどの成長分野で、コア技術を生かした独創的な製品を展開します。EV化、自動運転化が急速に進行する自動車分野では、車載用ケーブルやワイヤレス給電コイルなどを開発。今後に向けては、次世代新幹線向けの製品拡充や、超電導製品の商用化に向けた取り組みを進めています。
また、IT分野において、グループ企業である(株)アクシオと連携し、RPA&AI事業、次世代インフラ事業、統合認証基盤事業など産業界をサポートする製品・サービスを提供しており、ゼロトラスト事業については、サブスクリプション型で高収益ビジネスモデルへの転換を図っています。
他の事業セグメントとも連携し、付加価値の高い製品とソリューションの開発により、SWCCグループの新たな可能性を追求していきます。